

平成 27 年 10 月 23 日  
公益社団法人 土木学会

## 土木学会による支援の体制と内容

### 1. 土木学会による支援の目的

公益社団法人「土木学会」に設置された「アセットマネジメント実装のための実践研究委員会」（委員長：小澤一雅土木学会技術推進機構上席研究員）は、アセットマネジメントシステム実装における地方公共団体の共通課題について専門的観点から検討し、成果を他の地方公共団体へ提供して、その実践例の評価に基づいた、アセットマネジメントの全国普及展開を目的に活動しております。

今回、新潟市からの「持続可能なアセットマネジメントシステムの体制構築を推進するためのモデル事業」（以降:モデル事業）を提案頂き、上記目的の実践例として支援致します。

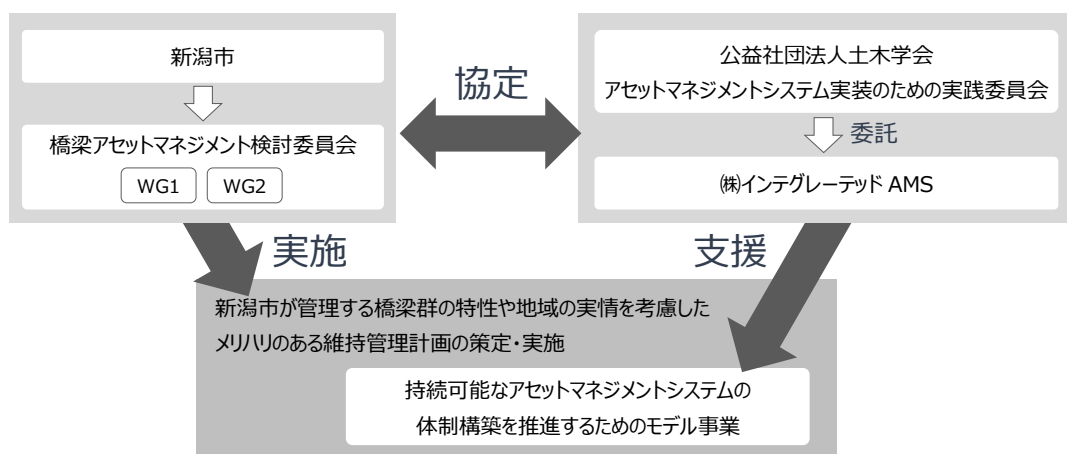
### 2. 支援の内容

モデル事業に対する支援の内容は、大きく下記の通りです。

- 対象施設である橋梁に関する情報の整理
- 維持管理業務の担い手（技術）に関する情報の整理
- 適切なアセットマネジメントシステムの検討および実施に向けた支援
- 新潟市が設置する委員会との連携

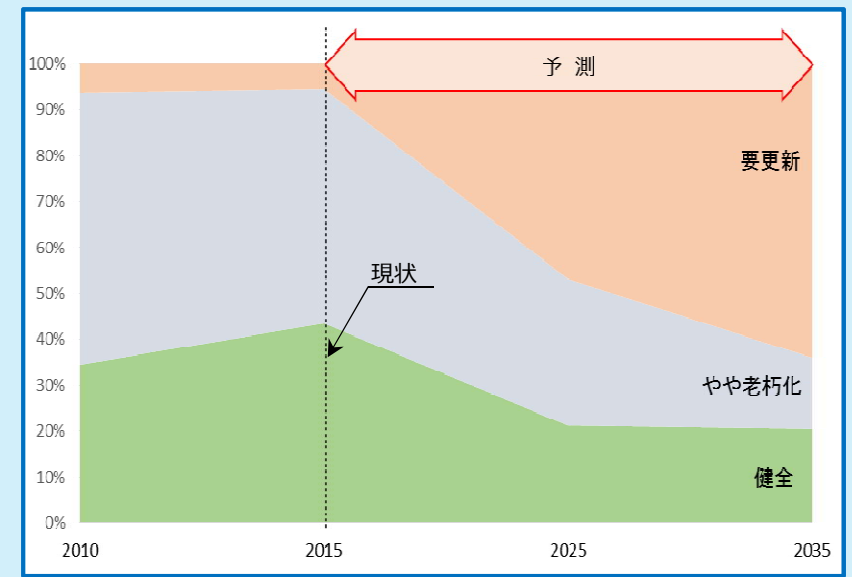
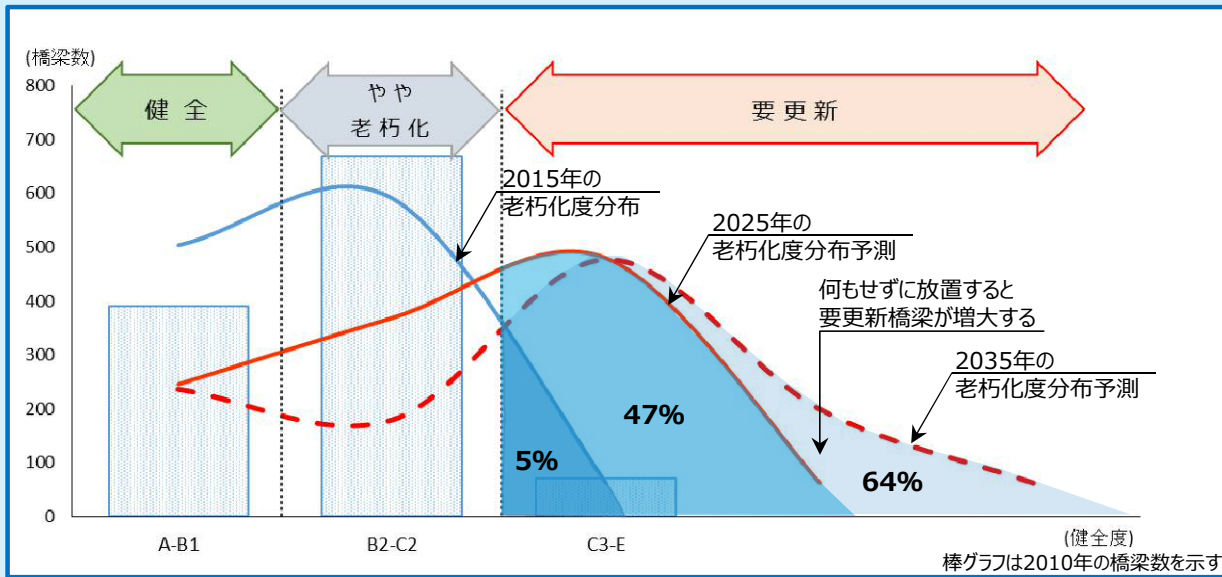
### 3. 支援の体制

モデル事業に対する支援体制を下図に示します。



## 橋梁老朽化度の推移予測（何も補修しないケース）

### 標準点検対象の橋梁（1158橋）



### 簡易点検対象の橋梁（2891橋）

